

(以下は、2024 年 3 月 5 日に米国シカゴから発表されたリリースの抄訳版です)

JLL、17 年連続で「世界で最も倫理的な企業」に選出

企業倫理に対する強固な倫理規範、コンプライアンス、ガバナンスプログラムの優れた取り組みで評価を獲得

東京 2024 年 3 月 12 日 – 総合不動産サービス大手 JLL（本社: 米国シカゴ、CEO & プレジデント: クリスチャン・ウルブリック、NYSE: JLL）は、企業倫理の基準を定め、推進を行う世界的なリーダーである米系シンクタンクのエシスフィア・インスティテュートが発表した「世界で最も倫理的な企業 2024」に 17 年連続で選出されました。JLL は、2008 年から業界最高水準の倫理規範、コンプライアンス、ガバナンスの実践を通じた優れたリーダーシップと経営の誠実性に対するコミットメントで評価を獲得しています。

2024 年は、世界 20 カ国、44 の分野から 136 の優れた企業が選出されました。その中でも、JLL は不動産分野で選出された企業 3 社、また 17 年以上選出されている企業 11 社のうちの 1 社です。

JLL グローバル チーフ リーガル オフィサー アラン・ツェは次のように述べています。「JLL のコアバリューの 1 つである倫理は、私たちの行動の中核となっています。今回の受賞は私たちの誠実な企業文化を反映したものであり、よりよい世界を目指して不動産の未来を拓く取り組みにおいても重要な要素です。」

JLL はエシスフィア・インスティテュートから「コンプライアンスリーダー」の認証も受けています。「コンプライアンスリーダー」認証は、倫理、コンプライアンスプログラム、企業文化について厳格な審査を行い、優れた水準を有する企業に授与されます。この栄誉は、2008 年から 2022 年まで JLL が保持していた「Ethics Inside Certification」を超えるものです。

エシスフィア・インスティテュート CEO エリカ・サーモン・バーン氏は次のように述べています。「『世界で最も倫理的な企業』の選出では、皆さまの素晴らしい企業努力に感銘を受けました。企業が倫理、コンプライアンス、ガバナンスを継続的に改善し、すべてのステークホルダーの利益に貢献しようとする取り組みを厳格な審査を通じてみてきました。最高水準の倫理と誠実な文化を持つ企業は、企業市民としての基準を示し、他社にとっても模範となります。この度、JLL がこの賞を受賞し、JLL の強固な倫理規範がビジネスにおいて不可欠であることを実証されたことをお祝い申し上げます。」

JLL の倫理規範、企業の社会的貢献度、従業員に対するコミットメントは、お客様や第三者機関から世界的に高い評価を得ています。JLL は 2023 年下記に選出されています。

- エシスフィア・インスティテュート「世界で最も称賛される企業」
- ブルームバーグ「ブルームバーグ男女平等指数」
- ドラッカー・インスティテュート「WSJ Management Top 250」
- セラマウント「インクルージョン・インデックス」
- American Association of People with Disabilities (AAPD) 「Disability Equality Index（障がい平等指数）Best Place to Work for Disability Inclusion」

JLL について

JLL（ニューヨーク証券取引所：JLL）は、不動産に関わるすべてのサービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。オフィス、リテール、インダストリアル、ホテル、レジデンシャルなど様々な不動産の賃貸借、売買、投資、建設、管理などのサービスを提供しています。

フォーチュン 500®に選出されている JLL は、世界 80 カ国で展開、従業員約 106,000 名を擁し、2023 年の売上高は 208 億米ドルです。企業目標（Purpose）「Shape the future of real estate for a better world（不動産の未来を拓き、より良い世界へ）」のもと、お客様、従業員、地域社会、そして世界を「明るい未来へ」導くことが JLL の使命です。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。jll.com

お問い合わせ：FGS グローバル(JLL 広報代理)

E メール：JLL-TYO@fgsglobal.com 長谷田 (080 9898 5591) 多田 (070 3857 8698)